

補助金評価シート

区分	重点・(重点以外)	補助根拠	法令補助	・(その他補助)	開始時期	令和6年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		商店街空き店舗活用事業補助金 商店街地区の空き店舗に出店する事業者のうち、商店街との関わりに意欲があり、事業の継続性が認められる店舗を対象に交付する補助金。						
款・項・目		商工費 商業費 商業振興費						
所属等		経済部 商業振興課 商業グループ 電話 025-226-1633						

年度		令和5年度		令和6年度(1年目)		令和7年度(2年目)	
予算額等の推移	予算(千円)			2,462		1,780	
	決算(千円)			127		1,780	
補助率				1/3		1/3	
目標		補助制度活用事業者が、年間1件以上。 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			0.0%	0件	100.0%	1件
	達成率80%以上						
	達成率50%以上						
	達成率50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		[内容] 活用事業者ごとに新潟市の補助金を活用した旨を表示。 [媒体] 事業報告書、ホームページ、店舗広告等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input type="radio"/>
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組>				
	<g～hにおける取組>				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善(補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 活用したい旨の間合せは多いが、出店希望場所がエリア外であることや、新規創業での出店といった理由から対象とならず、申請につながらないという課題がある。今後の方向性としては、「古町地区空き店舗活用事業」と組み合わせた1つの事業として、対象エリアや対象者の縛りを緩めるとともに、サイズや価格が合わない物件の改修とサブリースを支援し遊休不動産の流通を促す制度設計を検討していく。					